

## 定例記者会見要旨

日 時：令和3年11月5日（金）14：30～15：20

場 所：日本薬剤師会第二会議室

出席者：山本会長、安部副会長、宮崎副会長、磯部専務理事

### 提出資料：

1. 「日本健康会議 2021」の「健康づくりに取り組む5つの実行宣言 2025」について
2. 令和3年度 DEM 事業の実施方法について（令和3年10月29日付 日薬情発第147号）

### 1. 「日本健康会議 2021」の「健康づくりに取り組む5つの実行宣言 2025」について

山本会長より掲題の件について説明された。主な内容は以下の通り。

医療関係団体や保険者等で構成する「日本健康会議 2021」が、10月29日にオンライン形式で開催されたことを報告する。

本会議では、新たな活動目標となる「健康づくりに取り組む5つの実行宣言 2025」を採択し、2025年度を達成目標として、昨今の感染症の不安と共存する社会においても、新興・再興感染症や生活習慣病に負けない地域づくり・職場づくりに資するよう、コミュニティの結びつき、一人ひとりの健康管理、デジタル技術等の活用に向けた予防・健康づくりの推進を宣言した。

### 2. 令和3年度 DEM 事業の実施方法について

宮崎副会長より掲題の件について説明された。主な内容は以下の通り

本事業は、薬局が医薬品の適正使用に一層貢献することを目的とし、薬局薬剤師の有用性を社会に示すものである。今年度も昨年度に引き続き、日本大学薬学部との共同研究として当該事業を実施することを報告する。

調査対象医薬品は8品目（①レンボレキサント、②ドチヌラド、③エンパグリフロジン、④エサキセレノン、⑤スボレキサント、⑥フェブキソスタット、⑦ダパグリフロジン、⑧エプレレノン）である。

調査の対象期間及び対象患者は、各薬局で決めた対象期間（2021年9月1日～9月末日の間の連続した任意の日数）に、調査対象医薬品が調剤された全患者を抽出し、調査条件を満たす患者を対象患者として、調査を行う予定である。

なお、令和元年度 DEM の調査結果は、論文化し、「Expert Opinion on Drug Safety」（Published online：2021年7月19日）に掲載された。

### 記者からの質問は以下の通り。

**山本会長：**一部の報道で取り上げられた緊急避妊薬の零売については、現時点で、日薬としての対応方針は「決めていない」とお伝えしたい。緊急避妊薬を必要とする人に届けるための方法を様々に検討する中で、「方法の一つ」として議論の俎上に載ったということ。

**記者：**「方法の一つ」という表現について具体的に伺いたい。

**山本会長：**新型コロナウイルスの医療用抗原検査キットのように、薬局医薬品としての扱いやす

イチ OTC 化など、様々な方法論を会内で検討する中で零売も議論に入っていた、ということである。緊急避妊薬を必要とする人に、零売という方法が適するのということ等も含めて議論したが、それ以上のことは話していない。一方で、処方箋が無いと調剤できないという現状は、緊急避妊薬のように服用までの時間が限られている医薬品を必要とする方々にとっては厳しく、大きな課題であるとも認識をしている。

**記者：**処方医と管理薬剤師（かかりつけ）の併用禁忌薬の見逃しによる健康被害について、かかりつけ薬剤師を推奨する日薬の受け止めを伺いたい。

**安部副会長：**薬剤師は、疑義照会等を行うことで薬による健康被害を防ぐ役割を担っているが、患者が何年もかかりつけとして利用していた薬局でありながら、併用禁忌を見逃してしまったことについては、大変残念に感じている。

**山本会長：**改正医薬品医療機器等法でも、服薬情報を一元的に把握しフォローアップする等、今まで進めてきた薬局の役割や薬剤師の仕事が具体的に整理されたが、そうしたことが実践されていなかったとすれば大変残念である。こうした見落としがないように確実に仕事をしていくことを改めて実感しなければならない。

次回の定例記者会見は、令和3年11月17日（水）、15：00～16：00

以上